

## 平成 25 年度 十勝農試 定期作況報告 **大豆** だいず ダイズ

月	作況	事由
6月20日	やや良	<p>播種期は平年より1日遅い5月21日であった。播種後は高温に経過したため出芽は良好で、出芽期は平年より4~5日早かった。出芽以降も概ね高温に経過し、主茎長、主茎節数は平年を上回っている。</p> <p>以上のことから、現在の作況はやや良である。</p>
7月20日	良	<p>6月下旬の気温は平年より低かったが、7月に入り気温は概ね平年並~高めに経過したことから生育は順調に進んだ。開花始は平年より2~5日早く、主茎長、主茎節数は平年を上回っている。</p> <p>以上のことから、現在の作況は良である。</p>
8月20日	良	<p>前節以降の気温は、8月上旬の低温を除き概ね平年並に経過したことから、主茎長、主茎節数は平年を大きく上回っている。着莢数は「トヨムスメ」で平年並、「ユキホマレ」「トヨハルカ」では平年より2割程度多くなっている。7月下旬から降雨による倒伏が発生し、現時点の倒伏程度は「ユキホマレ」「トヨムスメ」で微~中となっている。</p> <p>以上のことから、現在の作況は良である。</p>
9月20日	平年並	<p>8月下旬~9月上旬は平年より降水日数が多く、日照時間が少なかった。降雨により倒伏程度は「ユキホマレ」「トヨムスメ」が多~甚、「トヨハルカ」が中~多となった。これらにより着莢数は、「トヨムスメ」で平年をやや下回り、「ユキホマレ」「トヨハルカ」で平年並であった。</p> <p>以上のことから、現在の作況は平年並である。</p>
10月20日	やや良	<p>成熟期は平年より2~3日遅れた。着莢数は「ユキホマレ」でやや多く、「トヨムスメ」ではやや少なく、「トヨハルカ」で平年並であった。いずれの品種とも、一莢内粒数は平年並で、百粒重は平年よりかなり重かった。これらのことから、子実重は平年比104~112%の多収となったが、屑粒率が平年よりやや高かった。</p> <p>以上のことから、現在の作況はやや良である。</p>
11月20日	やや良	<p>播種期は平年より1日遅かったが、その後は高温に経過したため、出芽期は4~5日早かった。その後も気温は6月下旬を除き概ね平年並から高かったため、開花始は平年より2~5日早かった。生育は旺盛で主茎長、主茎節数は平年を大きく上回って経過し、7月下旬以降、降雨による倒伏が発生した。8月下旬~9月上旬は平年より降水日数多く、日照時間が少なかったため成熟期は平年より2~3日遅れた。着莢数は「ユキホマレ」でやや多いが、「トヨムスメ」ではやや少なく、「トヨハルカ」で平年並となった。また、登熟期間が平年より4~8日長くなり、いずれの品種とも百粒重が平年よりかなり重かった。一莢内粒数はいずれの品種とも平年並であった。これらのことから、子実重は平年比104~112%の多収となった。</p> <p>屑粒率は平年よりやや高かった。検査等級は「ユキホマレ」、「トヨムスメ」では平年並、「トヨハルカ」は平年を上回った。</p> <p>以上のことから、本年の作況はやや良である。</p>

※本作況は、十勝農業試験場における生育と収量について平年値との比較に基づき評価しているものであり、十勝管内全体の作況を代表するものではありません。

## 生育データ

品種名 項目/年次	ユキホマレ			トヨムスメ			トヨハルカ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.21	5.20	1	5.21	5.20	1	5.21	5.20	1	
出芽期(月日)	6.1	6.5	△4	5.31	6.5	△5	6.1	6.5	△4	
出芽率(%)	98.1	85.2	12.9	98.6	83.7	14.9	97.9	83.0	14.9	
開花始(月日)	7.12	7.14	△2	7.11	7.16	△5	7.14	7.16	△2	
成熟期(月日)	9.24	9.22	2	10.4	10.1	3	10.3	9.30	3	
主 茎 長 (cm)	6月20日	13.0	10.8	2.2	10.6	9.9	0.7	11.2	10.5	0.7
	7月20日	77.6	51.4	26.2	64.0	47.7	16.3	67.6	49.1	18.5
	8月20日	95.0	64.3	30.7	82.5	67.8	14.7	88.1	65.9	22.2
	9月20日	93.6	62.8	30.8	83.5	67.7	15.8	89.3	65.8	23.5
	成熟期	92.8	61.8	31.0	80.0	65.3	14.7	89.3	64.7	24.6
主 茎 節 数 (節)	6月20日	3.5	2.8	0.7	3.2	2.9	0.3	3.5	2.7	0.8
	7月20日	11.3	9.5	1.8	10.2	8.9	1.3	10.8	9.4	1.4
	8月20日	12.0	10.0	2.0	10.7	10.1	0.6	11.6	10.3	1.3
	9月20日	11.6	10.0	1.6	10.8	10.0	0.8	11.7	10.5	1.2
	成熟期	11.7	10.2	1.5	10.8	10.2	0.6	11.7	10.6	1.1
分 枝 数 (本/株)	7月20日	4.2	3.4	0.8	4.8	4.4	0.4	2.4	2.2	0.2
	8月20日	5.4	4.3	1.1	6.0	5.0	1.0	4.3	2.8	1.5
	9月20日	4.4	4.0	0.4	4.9	4.6	0.3	3.1	2.8	0.3
	成熟期	3.5	3.6	△0.1	4.3	4.5	△0.2	3.5	2.7	0.8
着 莢 数 (莢/株)	8月20日	87.9	70.6	17.3	73.7	73.8	△0.1	73.7	61.6	12.1
	9月20日	69.5	70.0	△0.5	62.3	67.0	△4.7	62.7	60.1	2.6
	成熟期	66.5	63.2	3.3	62.3	65.8	△3.5	61.1	60.9	0.2
一莢内粒数	1.75	1.71	0.04	1.73	1.71	0.02	1.88	1.86	0.02	
子実重(kg/10a)	384	361	23	402	385	17	397	353	44	
百粒重(g)	44.3	37.8	6.5	46.3	40.5	5.8	45.4	40.1	5.3	
屑粒率(%)	2.6	0.8	1.8	3.7	0.7	3.0	7.0	2.1	4.9	
品質(検査等級)	2下	2下	—	3上	3上	—	2上	2下	—	
子実重対平年比(%)	106	100	6	104	100	4	112	100	12	

備考1) 平年値は、前7か年中、平成24年(最豊作年)及び21年(最凶作年)を除く5か年平均である。

2) △は平年より早、少、短、軽、低を表す。

3) 着莢数は次のとおりである。8月20日現在: 莢の長さ2cm以上、9月20日現在および成熟期: 稔実莢。

4) 子実重と百粒重は水分15%換算。

## 耕種概要

一区面積(m <sup>2</sup> )	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株 本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
16.8	3	緑肥えん麦	60	20	2	8,333	5.21
施肥量(kg/10a)							
N	P2O5	K2O	MgO	堆肥	その他	種子処理	
1.8	15.0	7.8	3.0	なし	なし	クルーザーMAXX	

※十勝農業試験場定期作況報告に掲載の記事・図表・写真の無断転載を禁じます。すべての著作権は十勝農業試験場に帰属します。